

第4回香川県立丸亀病院整備検討委員会 議事録

1 日時 令和8年5月22日(金) 15:00～15:32

2 場所 香川県庁本館12階 大会議室

3 出席者(敬称略) (※)印はオンライン参加

(1) 委員

久米川委員長、上田委員、岡崎委員、佐藤委員(※)、星川委員、真鍋委員、森委員、吉村委員

※名簿順(委員は五十音順)

以上8名

(2) 香川県

・病院局 榎野病院事業管理者

[事務局]

(病院局)

- ・病院局 藪木局長、高橋次長
- ・県立病院課 廣瀬政策主幹、藤井課長補佐、野口主任、谷本主任
- ・中央病院 高口病院長(※)、片岡看護部長、定浪事務局長
- ・丸亀病院 伊藤病院長、和田看護部長、近藤事務局長

(健康福祉部)

- ・障害福祉課 河本課長、喜多副課長、竹内課長補佐、笠井主任
- ・医療政策課 麻生課長

4 議事要旨

(事務局)

資料：意見書案 第3回委員会での委員からの意見を踏まえ、事務局で修正を行った箇所について説明。

(委員長)

事務局からの説明、また、意見書の案に対して、委員からご意見、ご質問があればお願いしたい。

(委員)

10 ページ「(4) 医師の確保」に関する検討の○印の2つ目について、香川大学医学部がこれらをする必要があるのではないかと、とも思われてしまうため、私の希望としては、県立病院は、継続的に医師を受け入れる必要があるのではないかとしていただきたい。香川大学医学部というよりは、県側の必要性に書き直していただけないかと思う。

「地域医療を担う精神科医師を養成する」の部分は、香川大学医学部が主体的に行うことであるため、「香川大学医学部は、地域医療を担う精神科医師を養成することが期待される」などとし、その一環で、「県立病院は継続的に養成された医師を受け入れる必要がある」といった趣旨にすると、この項目の中で、香川大学医学部が果たすことと、香川県あるいは県立病院が取り組むことがはっきり分けられて良いように思うが、いかがか。

(委員長)

確かに、医師の派遣元は香川大学医学部だけではないが、県立病院は、継続的に医師を受け入れて研修していただく必要があると思うため、そういった文章の方が良いのかもしれない。

(委員)

各地域において、大学から公的病院に医師派遣ができていないのは、大学の人材が十分でないために派遣できないことが多い。多くの公的病院が医師を受け入れたいけれども、派遣されていないということだろうと思う。検討委員会で言うべきことではないかもしれないが、県立病院としては、やはり医師を派遣してほしいということなのかなと思う。落とすどころの表現は少し難しいと思うが、いかがか。

(委員長)

文章の表現については、考えておく。他の部分はどうか。

(委員)

本検討委員会の意見が反映されている意見書になっているのかなと思う。

(委員)

市中病院として2次救急を担っている立場からすると、この意見書にはほとんどの問題が盛り込まれ、網羅されていると思う。

将来的には、1つの病院というよりは、やはり連携、役割分担が大事と思うし、実際にどのように連携するのか、実際的なところが問題である。

(委員長)

今、国において新たな地域医療構想を策定中であり、その中においても各病院の連携をしっかりとやっていこうと検討している。そのようなことを盛り込んだ文章にしていきたいと思う。

(委員)

医療に関しては、専門の先生方がご判断されて、良くまとまっているということであり、先生方が気になる点については、今おっしゃっていただいた。

私からは、意見書の形式的なことについて聞きたい。「何々すべきである」と断定している部分と、「何々すべきではないか」と表現をやわらかくしている部分があり、強度が違う印象を受ける。何か意識して使い分けをしているのであれば教えていただきたい。

(事務局)

事務局としては、これまでの検討会で委員の皆様からいただいたご意見について、「こうすべきである」とご意見をいただいた部分については断定的に書いており、「こうではないか」とご意見をいただいた部分は、そのような表現にしている。

(委員長)

特に忝意はないということである。

(委員)

意見書には、委員会の生の声をそのまま載せてくださっているということで、強度の違いはないということが分かった。意見書を受けて対応される際には、全てのことについて、積極的に取り組んでいただきたい。

(委員)

大変まとまった意見書だと思うが、内容はさることながら、丸亀病院の老朽化が深刻なようであるため、早めの結論が良いと思う。

(委員長)

そのとおりである。今、精神身体合併症対応も急がれており、また、何をするにしても建築費の高騰もあることから、県は、この意見書を受けて、早く何らかの反応が必要ではないかと思っているため、よろしく願います。

(委員)

意見書において、丸亀病院の機能と、どのようにするのが良いのか、いくつか意見が出たと思うが、もしダウンサイジングをした場合、コストパフォーマンスが下がり、今以上の赤字となる可能性もある。意見書には盛り込まれていないが、経営に関して道しるべを示すことは、本当に喫緊の課題である。

(委員長)

この意見書の内容は、単科精神科病院では解決しえない内容となっており、身体合併症対応ができるような方向に進めていただきたいという方向性を示した。そういうことでよろしいか。

(委員)

これまでの意見を上手にまとめていただいていると思う。

できるなら、やはり公的病院が、最後の砦を崩さないで維持をしていただきたいということが、私たちの意見である。

(委員)

将来に向かって、香川県の精神医療体制をしっかりと確保することは県の責務である。コストのことも考えなければならない。また、医師確保が非常に大きな課題であるため、関係の皆様としっかりと意見交換をさせていただきながら、この意見書に沿った形で、早急に検討していきたいと思う。

(委員)

課題の緊急性について、政策課題には10年、20年かけてゆっくり考えるものがある一方で、急ぐものもある。この委員会の役割がどこまでかということはあるが、意見書に、早急な前進が求められるといったことを書き込むことは可能か。

(委員長)

可能である。意見書の最後に、早急な改善を希望するという一文を入れさせていただく。

他に何か委員の方から、よろしいか。

(委員長)

ご議論ありがとうございます。

本日の意見を受けて、現在の意見書の一部を修正させていただく。

本日委員からいただいた意見について、最終の意見書に反映させる文言は、委員長一任ということにさせていただいてよろしいか。

(委員全員)

はい。よろしく申し上げます。

(委員長)

ありがとうございます。

(委員)

先ほどの意見について、意見書の10ページ「(5) 今後の対応方針」の部分に、「早期に決定することを求める」と書いてあるため、これで表現できているということであればそれで良い。もう少し強めの表現を書き込めるのであれば、この文書を少し強化する形でも良いと思う。委員長にお任せする。

(委員長)

委員長に一任ということにさせていただく。他に何かよろしいか。
それでは、次第「3その他」について、事務局から何かあるか。

(事務局)

今回の意見書のとりまとめについて、香川県病院事業管理者からご挨拶申し上げます。

(病院事業管理者)

丸亀病院整備検討委員会の意見書の取りまとめに対して、お礼を申し上げます。

第1回から第4回まで、委員長をはじめ、医療、大学、経営、患者家族、行政など、それぞれ異なるお立場、ご経験をお持ちの8名の委員の皆様から、丸亀病院の整備検討にあたり、多角的な観点から、貴重なご意見を賜ったこと、また、委員長におかれては、多岐にわたるご議論を意見書としてまとめていただいたこと、厚くお礼を申し上げます。

特に、今回の意見書においては、精神身体合併症患者への対応が重要な課題となってくることから、「公立・公的病院には、精神身体合併症対応の役割が強く求められている」とのご意見をいただいた。

また、丸亀病院については、精神科救急や困難患者受入等の機能を、民間病院で一定対応している現状があることから、「丸亀病院は、民間病院との役割分担を改めて整理すべきではないか。」「民間病院を含めた県全体の精神医療行政において、県立病院は、他の医療機関では対応が困難な医療を担うことが求められている。この観点に立てば、現行の丸亀病院の運営体制をそのまま更新・維持することは困難な状況にあるのではないか。」というご意見をいただいた。

こうした意見書の内容について、私としても大変重く受けとめさせていただいている。

また、先ほど、早急な改善を希望するとのご意見をいただいた。今後、香川大学とも医師確保の面などご協議をさせていただきながら、意見書で示された方向性をもとに、県立病院における精神科医療の対応方針を、速やかに検討してまいりたいと考えている。

最後に委員の皆様方におかれては、長期間にわたり、熱心かつ真摯にご議論いただきましたことに、改めて心よりお礼を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

(委員長)

県におかれては、本意見書の内容を受けとめいただき、今後の県の精神医療行政の推進に向けて、着実に取り組んでいただくよう、お願い申し上げます。

それでは、この委員会としては、本日で最終回ということで、締めくくりとさせて

いただく。各委員の皆様には円滑な議事進行へご協力いただいたことに感謝申し上げます。

それでは、本日の議事を終了させていただく。司会を事務局にお返しする。

(事務局)

委員長をはじめ、委員の皆様方におかれては、4回に渡り、熱心かつ真摯にご議論をいただき、感謝申し上げます。

以上で、第4回香川県立丸亀病院整備検討委員会を終了する。

以上